

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市亀岡老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人 元気村
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 15,539人(前年度比 117.7%) 令和5年度 13,197人 令和4年度 12,289人 《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 30,540千円(30,440千円) - その他市が負担した費用 0千円(0千円) 《収入》 - 使用料収入 0千円(0千円) - その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和7年2月に利用者アンケートを実施。また利用者らからなるサポート・運営委員会、第三者委員会、三者合同会議の開催など、利用者の提案内容や要望等に耳を傾けながら事業運営を行っている。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 元気村）による自己評価》
当センターの利用者の約80%は75歳以上の後期高齢者です。そうした方々が安全・安心に、楽しく過ごせる施設として、また健康維持に役立つ場として、運動系の講座を多く開設・運営しており、利用者から高い評価をいただいているものと考えております。 家庭へのお風呂の普及率が96%以上という状況下では、家庭の延長ではなく、加齢により衰えた身体にやさしい入浴方法として、湯温41℃の半身浴を推奨しています。初めは物足りなさを感じる方もありますが、健康志向の風呂として理解されております。 また高齢者の健康志向の高まりを受け、運動系の教室を増やしており、健康リハビリ運動教室、太極拳、健身気功、ヨーガ、シニアフィットネス、ペタンク、ダンス・舞踊系団体など多くの教室・愛好会が活動しており、運動・認知・精神面を支えるバラエティサロンも開講しています。 中でも令和6年度はフィットネスクラブ、筆ペン写経クラブ、セルフヒーリング倶楽部も開講しました。 センターが企画するイベントのうちハッピーばーてい誕生会は、誕生者の孤立感を払拭し、自己肯定感を育む目的で毎月開催しており、教室間の交流や発表の場としても機能しています。令和6年度の参加者は前年度比172%と特筆すべき成果です。 その他、近年は自家用車での来館者が増加し、駐車スペースが不足しつつあるため、事故防止も含め庭の転用などの対応が必要と考えています。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の施設運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 教室や愛好会の利用に関しては、センター利用者の約80%が75歳以上の後期高齢者であるという特性を踏まえ、健康志向の高まりに応じて、運動系の教室・愛好会を増やすなど、利用者の声を反映した運営がなされている点は高く評価できる。 加えて運動・認知・精神面を支えるバラエティサロンも、令和6年度には新規でフィットネスクラブ、筆ペン写経クラブ、セルフヒーリング倶楽部を開講するなど、力をいれて取り組んでいる。 また、当センターでは毎月多彩なイベントを企画しているが、特に「ハッピーばーてい誕生会」は令和6年度の参加者数が前年度比172%と大幅に増加しており、利用者の交流や発表の場として機能していることが確認できる。このことから、利用者のニーズを的確に把握し、運営に反映している姿勢が伺える。 以上の点を総合的に勘案すると、亀岡老人福祉センターの令和6年度の運営は、総合的に高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課